

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成27年3月31日

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股孝志

1. 接合金物名称	オメガ短冊スリム10
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	横架材端部仕口(継手型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「オメガ短冊スリム10」 材質：降伏点560N/mm²以上 引張強さ590N/mm²以上の鋼材 試験では、ZAM(MSM-CK590)*1を用いた 寸法：(外形)50mm×250mm 板厚t=0.6mm 接合具用孔 10-φ5.9mm</p> <p>2) 接合具</p> <p>横架材(上)側：「木ねじ TBA-45」5本 材質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18~0.23%,Mn;0.70~1.00%,P;0.030%以下,S;0.050%以下 寸法：φ5.3mm L=43mm 頭部径φ9.3mm 表面処理：エコーコート*2WH処理</p> <p>横架材(下)側：「木ねじ TBA-45」5本 材質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18~0.23%,Mn;0.70~1.00%,P;0.030%以下,S;0.050%以下 寸法：φ5.3mm L=43mm 頭部径φ9.3mm 表面処理：エコーコート*2WH処理</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>横架材(上)：105mm×105mm×500mm スギ無等級材 含水率：9.0~12.0% 全乾密度：0.40~0.42g/cm³</p> <p>横架材(下)：105mm×105mm×500mm スギ無等級材 含水率：9.0~12.5% 全乾密度：0.39~0.44g/cm³</p> <p>合板：100mm×500mm 厚さ9mm 構造用合板 2枚 含水率：7.0~8.0% 全乾密度：0.45~0.50g/cm³</p> <p>*1 日新製鋼(株)の品質規格 *2 エコーコートは、NOFメタルコーティングス株式会社の登録商標</p>
6. 試験条件	試験体は接合部を実状に合わせた仕様とし、横架材相互を当該接合金物1枚により接合した。 試験は偏心加力とならないように、サポート器具を設けて実施した。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 8.0 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成27年2月17日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 土屋 江利佳

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。